

1 普及・啓発活動

(1) 講演会、セミナー

新型コロナウイルス感染症のため、イベント開催の制限がありましたが、ICT を活用し、道内各地において、情報通信に関する最新の話題等についての講演会、セミナー等を実施し、ICTの普及に努めました。

令和2年度 電波の日・情報通信月間 記念式典・交流会 【情報通信月間行事】	
日時	2020. 6. 1 (月) 【中止】
主催	総務省 北海道総合通信局、北海道テレコム懇談会
内容	
参集しての式典及び交流会は中止といたしました。 北海道テレコム懇談会長からの表彰は、該当なしとして表彰は行いませんでした。	
団体名（代表者）	功績の概要
(該当なし)	

北海道映像コンテスト 2020		【情報通信月間行事】
実施時期	応募期間：2020. 4. 1（水）～2020. 5. 15（金） 表彰式：2020. 7. 1（水）	
主催	一般社団法人北海道映像関連事業社協会、北海道テレコム懇談会、総務省 北海道総合通信局	
会場	（表彰式）株式会社HBCフレックス会議室	
内容		
今回で20回目を迎える映像コンテストでしたが、新型コロナウイルスの影響で、審査は個別に実施、例年実施のホテルでの表彰式・懇親会を中止し、7月1日に会議室で一部簡略化した表彰式を行いました。また、他の受賞者に対しては、メールにて入選内容を報告し、受賞トロフィーを郵送しました。 学生部門、アマチュア部門の最優秀作品は、当会ホームページで公開しています。 https://tele-kon.gr.jp/main/eizo-contest/		
《入選作品》		
◆アマチュア部門	◆学生部門（高等学校）	
		
【最優秀賞】 永遠の棲家 ＝高田義久	【北海道総合通信局長賞】 舳先を向けるは稚内 ＝稚内北星学園大学樺太プロジェクト	
【優秀賞】北見MY LOVE ＝RBC北見緑陵高等学校放送局 ◆番組部門（放送） 【優秀賞】いまを生きるアイヌへ＝HTB映像(株) 【優秀賞】ソラタビ北海道～海岸線3000Kmスペシャル～＝(株)札幌映像プロダクション ◆番組部門（短編・VP） 【最優秀賞】国立アイヌ民族博物館4Kシアター映像「世界が目したアイヌの技」 ＝(株)札幌映像プロダクション 【優秀賞】北海道プライド～馬搬～古くて新しい林業＝(株)オーテック ◆地域振興コンテンツ部門 【優秀賞】「四季の魅力発信！ふらの」 ＝HTB映像(株) 【優秀賞】古民家一棟貸し宿 Solii ＝(株)エンターリム		

ICT分野の産学Webマッチング

日時	2020. 6. 5（金）からWebサイトへ掲載
主催	北海道テレコム懇談会、総務省 北海道総合通信局
公開場所	北海道テレコム懇談会Webサイト（YouTube利用）
参加者	（アクセス数） 833

内容

ICT を活用して地域課題を解決する研究成果の社会実装を推進するため、北海道総合通信局及び電子情報通信学会北海道支部と連携し、研究者と北海道テレコム懇談会の会員等との Web マッチングの場として、北海道の ICT 研究の成果を紹介するサイトを開設しました。

<https://tele-kon.gr.jp/main/ict-matchingtop/>

【掲載した研究成果】

○高度 ICT 社会実現のための先進的電磁界シミュレーションの研究

北見工業大学情報通信系 教授 ^{かしわ たつや} 柏 達也 氏

北海道大学大学院情報科学研究院 助教 ^{ひかげ たかし} 日景 隆 氏

○無線通信・マルチメディア処理のハードウェア設計技術

北海道大学 大学院情報科学研究院 メディアネットワーク部門 准教授 ^{つつい ひろし} 筒井 弘 氏

○機械学習技術を用いた新規光デバイスの創生

北海道大学 大学院情報科学研究院准教授 ^{ふじさわ たけし} 藤澤 剛 氏

○オンラインアルゴリズムを用いたエッジクラウドオーケストレーションに関する研究

北見工業大学 地域未来デザイン工学科助教 ^{しょう しゅん} Shao Xun 氏

○高性能光デバイス開発のためのトポロジー最適設計法の開発

室蘭工業大学 大学院工学研究科 教授 ^{つじ やすひで} 辻 寧英 氏



Web マッチングチラシ



Web マッチング Web サイト

オープンデータセミナー

「北海道新型コロナウイルスまとめサイト」が みせてくれたもの

日時	2020. 10. 1 (木) 17時～18時50分
主催	北海道テレコム懇談会、総務省 北海道総合通信局
特別協力	NoMaps実行委員会、北海道オープンデータ推進協議会
後援	北海道、札幌市
会場	YouTube Liveによるリアルタイム配信（オンライン開催）
参加者	（ライブ配信アクセス数） 119

内容

北海道知事による緊急事態宣言下で、有志チーム「JUST 道 IT」が立ち上げた「北海道新型コロナウイルスまとめサイト」(<https://stopcovid19.hokkaido.dev/>)の事例を通じて、シビックテックによるオープンデータの効果的な活用事例やその制作過程を紹介するオープンデータを考えるオンラインセミナーを開催しました。

ファシリテーター 古川 泰人 氏 (Code for Sapporo)
 スピーカー 井口 奏大 氏 (株式会社 MIERUNE)
 喜多 耕一 氏 (北海道)
 関 治之 氏 (一般社団法人 コード・フォー・ジャパン)
 森 雄大 氏 (株式会社インフィニットループ)
 やまがた たくや 氏 (森町)
 山形 巧哉 氏 (森町)
 よしざわ たいゆう 氏 (旭川工業高等専門学校)
 吉沢 太佑 氏 (旭川工業高等専門学校)

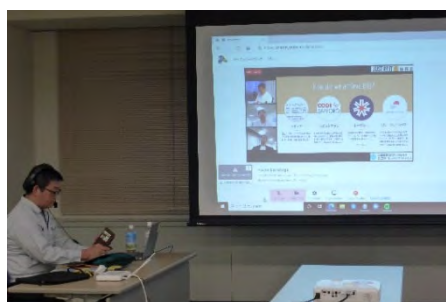
アーカイブ: <https://tele-kon.gr.jp/main/activity/act2020/20201001result/>



告知用ビジュアル



セッション1では「JUST 道 IT」の経緯が報告されました



登壇者同士も密を避け、リモート会場から登壇



セッション3では登壇者全員でリモートディスカッション

令和2年度 「電波教室」の開催			
主催	北海道テレコム懇談会、北海道苫小牧工業高等学校、北海道電波適正利用推進員協議会、総務省 北海道総合通信局		
開催日	会場	参加者	
2020. 7. 7 (火)	苫小牧市 (北海道苫小牧工業高等学校)	39名	北海道苫小牧工業高等学校との共催 【情報通信月間行事】
2020. 7. 14 (火)			北海道苫小牧工業高等学校との共催 【情報通信月間行事】
2020. 7. 28 (火)			北海道苫小牧工業高等学校との共催
2020. 8. 19 (水)			北海道苫小牧工業高等学校との共催
2020. 11. 8 (日)	釧路市 (まなぼとと幣舞)	47名	釧路市生涯学習フェスティバル実行委員会との共催
2021. 2. 13 (土)	白糠町 (白糠町公民館)	14名	白糠町教育委員会との共催
内容			
北海道電波適正利用推進員協議会、総務省北海道総合通信局及び各開催地域の団体との共催により、「新型コロナウイルス対策指針」に基づき、電波教室を開催しました。DVDの視聴、簡易電話機とCB無線機による通信実験やラジオ製作、クイズ大会等を通じて、電波に関する学習を行いました。 初めて「はんだごて」を使用する方もいましたが、怪我もなく楽しく製作することができました。当会からは、電波キット100個を提供しています。			
			
ラジオキットを自主的に製作（苫小牧市）		電波教室（釧路市）	
			
通信実験を行う北海道電波適正利用推進員（白糠町）		ラジオ製作中（白糠町）	

令和2年度 非常通信セミナー

日時	2020. 12. 16 (水) ～
主催	北海道テレコム懇談会、北海道地方非常通信協議会、総務省 北海道総合通信局
会場	(録画会場) TKP札幌駅カンファレンスセンター (札幌市)
参加者	(録画配信アクセス数) 839
内容	

近年、訪日外国人観光客が年々増加してきているという実態を捉え、災害時における主に外国人への情報提供のあり方、防災関係者が知っておくべき知識の向上を図るという観点から専門的立場からの解説をいただきました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため講演を録画し、後日 YouTube によるネット配信により開催しました。

訪日外国人が旅行中に困ったことについて、2014年度のアンケート調査結果では「無料公衆無線LAN環境」が46.6%で第1位でしたが、2019年度の調査では11.0% (第5位) と近年急速に Wi-Fi 環境が改善整備されてきている実態が紹介されました。

また、災害応急時の情報提供は半数以上の自治体がまだ多言語対応ができておらず、外国人旅行者の安全・安心確保のために、常時接続可能な多言語対応アプリの提供強化が必要であるとの提言がされました。

収録日：2020年12月2日

<講演>

演題：「非常時の外国人旅行者の安全・安心の確保に向けた取り組み」

講師：国土交通省 観光庁 外客受入担当参事官付 外客安全対策室長

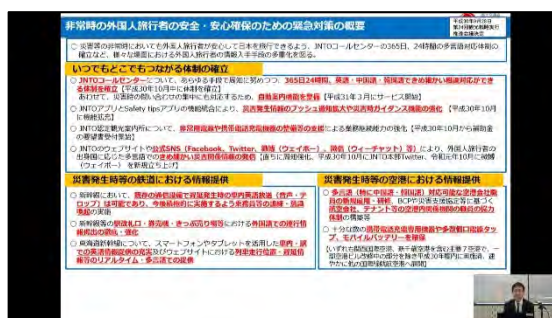
たかの あきら
高野 明氏



(主催者代表挨拶) 松井北海道総合通信局長



(講師) 高野 明氏



配信画面から

北海道起業家甲子園2020

日時	2020. 12. 19 (土)
主催	北海道テレコム懇談会、総務省 北海道総合通信局、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)、一般社団法人北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会 (HMCC)
特別協力	No Maps実行委員会
後援	北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会
会場	道新ビル北一条館内DO-BOX
参加者	7校、11チーム

内容

I o T時代における革新的な技術やサービスの提供ができるベンチャーの創出に向けて、関係機関と連携し、北海道管内において情報通信分野での起業を志す学生や有望な若手起業家、ベンチャー起業を支援する施策を実施しています。

今年度もその一環として、北海道におけるI C Tベンチャーの担い手となり得る人材の発掘を目的に、学生対象のビジネスコンテストとしての「北海道起業家甲子園 2020」を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催とし、当日は11チームから発表があり、審査の結果、最優秀賞などは以下のとおりとなりました。

【最優秀賞・N I C T賞】北国のヒグマ軍団（旭川工業専門学校）

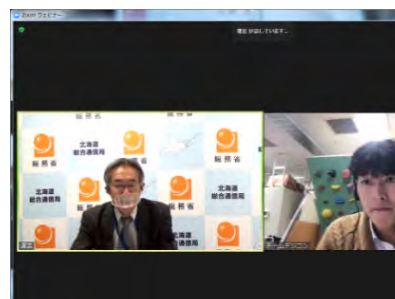
【優秀賞・北海道テレコム懇談会長賞】チームデジコン（北海道大学大学院等）

【優秀賞・総務省北海道総合通信局長】チームうみねこパン（室蘭工業大学）

【優秀賞・HMCC賞】北海道うち守る隊（札幌日本大学高等学校）



発表風景



リモートで質疑応答



表彰 北海道テレコム懇談会長賞
チームデジコン



閉会挨拶 やまもとつよし 山本強北海道テレコム懇談会会長

地域情報化オンラインセミナー デジタルネイティブがつなぐ新たな道	
日時	2021. 3. 2 (火)
主催	北海道テレコム懇談会、総務省 北海道総合通信局
後援	北海道、名寄市
会場	naniroBASE&LAB. オンライン配信
参加者	(ライブ配信アクセス数) 105
内容 名寄市のコミュニティスペース「naniroBASE & Lab.」から現地の雰囲気を伝えながらのライブ配信を行い105名の方に視聴いただきました。 若い世代がデジタルツールをどう使うかということに加え、情報発信をしながら広くゆるやかに人とつながり、柔軟に修正しながらものごとを進めていく「かろやかさ」、情報発信について常に熟慮して行っていることが伝わってきました。 また、アーカイブについては一夜で500以上の接続があり、登壇者の影響力や本セミナーへの関心の高さがうかがえました。 第1部 デジタルネイティブの活動報告 第2部 トークセッション モデレーター 黒井 理恵 氏 (株式会社 DKdo 取締役) スピーカー 秋葉 直人 氏 (名寄市立総合病院 事務部総務課経理係係長) 下沢 杏奈 氏 (北海道教育大学函館校／人生の学び舎「荘」プロジェクト代表) 野澤 一盛 氏 (一般社団法人ドット道東 理事) 山口 颯一朗 氏 (yureru 代表)	
 ビジュアルはスピーカーの下沢杏奈氏にデザインを依頼  第1部 (左から 下沢杏奈氏、黒井理恵氏)  第2部 トークセッションの様子 (左から 秋葉直人氏、山口颯一朗氏、黒井理恵氏)	

(2) 協賛行事

当会では情報通信普及啓発イベントについて、自己資金の1/2を上限とし、公募の上で協賛金を交付しています。

イベント支援部会会則に基づき一次募集（5月）及び二次募集（11月）の結果、3団体に対し支援を実施しました。

北海道テレコム懇談会
イベント協賛金のご案内

北海道内で開催する、情報通信技術に関連する非営利のイベントに対し協賛金による助成を行います。

- ・ 例年6月・10月を目途に公募
- ・ 協賛金の額は、イベント経費や期待できる効果により評価を行い算定
- ・ 最大8万円
- ・ テレコム懇談会非会員は算定額の1/2

詳細はメールにてお問い合わせください。
メールアドレス：telekon-hokkaido1985@tele-kon.gr.jp

<支援実績>
シェアソン教室
ICT利活用講演会
パソコン
小中学生向けプログラミング教室
電子工作ワークショップ＆ワークショップ 等

協賛支援金支払いまでの流れ（一般的な例）

```

    graph LR
      A[公募] --> B[応募]
      B --> C[評価]
      C --> D[支援額内定]
      D --> E[イベント開催]
      E --> F[報告]
      F --> G[支援額決定]
      G --> H[振込]
  
```

イベント開催時の効果的な写真撮影も重要です

北海道テレコム懇談会は、1985年（昭和60年）の利活用等により北海道の発展を遂げた個性豊かな地域社会づくりに貢献することを目的として、1989年（昭和64年）8月に設立された団体です。

北海道テレコム懇談会 事務局
〒060-0676 札幌市中央区南一条西4丁目1番地 道庁別館ビル
株式会社 道庁別館ビル内 TEL. 011-239-3902
メール telekon-hokkaido1985@tele-kon.gr.jp
ホームページ <http://tele-kon.gr.jp/blog/>

二次募集時から使用した周知用チラシ

	申請者	イベント	協賛額
一次募集	特定非営利活動法人シニアネットいぶり	パソコンで遊ぼう' 2020	67,000 円
	株式会社はまなすインフォメーション	ICT 利活用セミナー2020 ～Society5.0時代を見据えた地域社会づくり～	中止
	特定非営利活動法人くるくるネット	子どものためのプログラミング道場 CoderDojo muroran	68,000 円
二次募集	（一社）日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会	安心安全生活情報を発信するコミュニティ放送局のラジオ聴取とHP閲覧の呼びかけ	80,000 円

安心安全生活情報を発信するコミュニティ放送局のラジオ聴取とHP閲覧の呼びかけ 【情報通信月間行事】	
実施時期	2020. 5. 15（金）～2020. 6. 15（月）
主催	一般社団法人日本コミュニティ放送協会 北海道地区協議会
会場	北海道内22のコミュニティ放送局
内容	各コミュニティFM局の放送を活用し、安心安全生活情報を発信するコミュニティ放送局の役割を伝え、ラジオ聴取とHP閲覧の呼びかけを行った。 特に災害時に安心情報をラジオ放送とインターネット（HP等）で発信することを周知し、日頃からの活用を促進するよう働きかけた。
協賛金	80,000円

パソコンで遊ぼう' 2020		【情報通信月間行事】
日時	2020. 9. 27（日）	
主催	特定非営利活動法人 シニアネットいぶり	
共催	パソコンボランティアプラザ室蘭、ラジこらん	
後援	室蘭市・登別市・室蘭市教育委員会・登別市教育委員会・北海道新聞社・室蘭民報社	
会場	室蘭市生涯学習センター きらん	
参加者	30名	
内容	1. 会員の作品展示（絵画、写真等） 2. パソコン無料相談 3. 動画作成体験（AVIUTL） 4. Zoom 体験（リモート会議システム） 5. タブレット体験（ぬりえを動かしてみよう） 6. FM びゅー・チームラジっ娘（ハロウィンめいろをつくろう） 7. 礼文風展示	
協賛金	80, 000円	









Coderdojo 室蘭		【情報通信月間行事】
日時	2020. 8. 23（日）～2021. 3. 8（月）（全14回）	
主催	特定非営利活動法人くるくるネット	
会場	生涯学習センター きらん、オンライン	
参加者	41 名	
今年度はコロナウイルス対策を考えながらの活動で、オンライン活動・きらんでの活動を組み合わせながら行いました。 オンラインでは主にスクラッチをレクチャーし、オンラインでもプログラミングのレクチャーができることがわかりました。 実地では主にマイクロビットを使って基礎講座、通信講座、ゲームを作ることなどを行いました。参加者の感想もプログラミングが楽しくなった、パソコンが楽しくなったという声がありました。		
協賛金	68, 000 円	
     		

2 情報通信に関する調査及び研究

ICTサロンの実施

情報通信に関する調査及び研究活動として、最新情報、会員の役立つ情報を提供し、ディスカッション等により認識を深めてもらうことを目的に実施してきましたが、コロナ禍で対面での交流ができなくなってしまいましたので、オンラインでの開催といたしました。

<https://tele-kon.gr.jp/main/membersonly/ictsalon/>

第77回 ICTサロン

「AI 活用から新しい価値観を SOUZOU する」
～予測不能な経済社会環境をスマートに生きるために～

日時	収録 2020. 8. 11 (火) 公開 2020. 9. 25 (金)
参加者	(サイトアクセス数) 210 (Youtubeアクセス数) 34
内容	
ゲスト：北海道大学大学院情報科学研究院 教授 ^{かわむら ひでのり} 川村 秀憲 氏 聞き手：北海道テレコム懇談会事務局長 ^{しみず ともやす} 清水 友康 ゲストのインタビューの様子を、録画配信により実施しました。 1 これまでの研究活動、2 新型コロナウイルス、3 ICT技術の新しい価値 4 北海道に必要なことの4つの項目を柱に、AIやビッグデータを活用した課題解決のフィールドとして北海道は魅力的であること、積極的な産学連携によってロールモデルを作り、積み上げていくことで継続的な流れができるというお話しなどをお聞きしました。	
 川村教授（北海道大学） 聞き手：清水事務局長（道銀地域総合研究所）	

第78回ICTサロン

人生、検索だけで間に合ってますか？ — 劇的図書館革命ストーリー —

日時	2021. 1. 22 (金)
参加者	(ライブ配信アクセス数) 91
内容	

ゲスト (初代) 札幌市図書・情報館館長 ^{あさの たかお} 浅野 隆夫 氏

「Sapporo Incubation HUB DRIVE」(札幌市中央区大通り西3丁目6北海道新聞本社ビル2階) からライブ配信しました。

貸し出しが増加している電子図書の可能性や曖昧になりがちな課題を明確にすることが可能な図書館の新しい価値、ICTの力を活かしてできたネットワーキングの中で人々の中のベストバージョンを作る、サポートをする新しい図書館の仕事についてお話しいただきました。

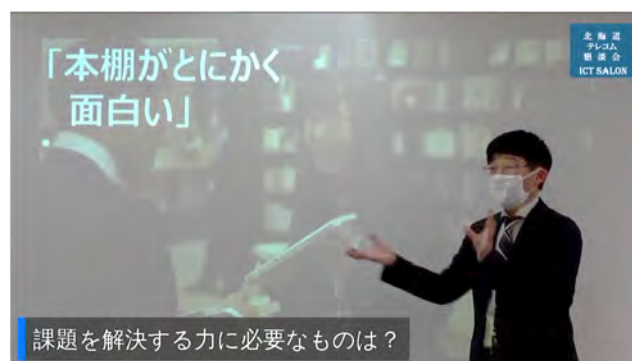
人生、検索だけで間に合ってますか？
— 劇的図書館革命ストーリー —

講師 (初代) 札幌市図書・情報館 館長 ^{あさの たかお} 浅野 隆夫 氏 (総務省地域情報化アドバイザー)

プロフィール
1966年東京生まれ。札幌育ち。札幌市役所で、市民用Webリニューアルや情報化推進業務に従事。札幌市の事業所で行く。2010年に図書館へ異動。図書館システムを担当し、ニュー・アークと併称に「札幌市電子図書館」を立ち上げる。その後、「札幌市図書・情報館」の立ち上げメンバーとなる。2018年の開館と同時に館長に就任。現在は市民図書館の発展と札幌市図書館・情報館の能力を向上。

北海道
札幌市
ICT SALON

フライヤー



配信画面から